

1. 単元名 まちをたんけん だいはっけん！

2. 単元の目標

○自分たちの住む町を探検することで今まで知らなかった町の様子や町のよさ、魅力を発見し、地域に愛着をもつことができる。

○町で働いている人たちや道路にある標識や標示などにより、自分たちのまちの安全は守られ、安心して生活できているということに気づくことができる。

3. 単元の評価基準

| 評価の観点 | A：知識・技能 | B：思考・判断・表現 | C：主体的に学習に取り組む態度 |
|-------|---|---|--|
| 評価基準 | <p>①自分たちの生活は、地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所と関わりをもっていることがわかり、地域のよさに気づいている。</p> <p>②地域にはみんなでするものがあることや、みんなが安全に生活できるよう支えている人々がいることなどがわかり、自分との関わりに気づいている。</p> | <p>①探検を通して、人々と適切に接することや、安全に生活すること、まちにはみんなでするものがあることや、それを支えている人々がいることなどについて考えることができる。</p> <p>②好きになった場所やお世話になった人のことについて振り返り自分なりに表現している。</p> | <p>①地域で生活したり働いたりしている人々やさまざまな場所に関心を持ち、親しみや愛着をもって人々と適切に接したり安全に生活したりしようとしている。</p> <p>②公共物や公共施設を大切にし、それを支えている人々に関心を持ち、安全に気をつけて正しく利用しようとしている。</p> |

4. 指導の立場

(1) 子どもについて

1年生5名2年生4名の計9名は、明るく活発で自分の意見を積極的に伝えようとする児童が多い。また、どんなことにも興味を持ち、一生懸命取り組むことができる。

『めざせ 野さい作り名人』の学習では、1. 2年生共にトマトの苗を植え、その成長を観察している。2年生は1年生の時にあさがおを育てた経験から、どのようなところを観察したらよいのか、どのようなお世話をしたらよいのかを1年生に伝えることができた。2年生は、色や形、実の数や模様など絵や文でより詳しく表し、1年生はその様子を絵で記録している。2年生が1年生に絵の描き方を教えてあげたり、水やりの仕方を教えてあげるなど協力して活動する姿が見られる。

発表の場では、トマトの成長の変化についての気付きや観察をした感想など自分で考え積極的に発表できる児童が多い中、一人で考えることが難しい児童もいる。観察してどう思ったのか、トマトにどんな変化があったのかをそばで一緒に考える等の支援が必要である。

(2) 単元について

子どもたちは、地域の中でさまざまな人や場所、ものと関わりながら生活している。しかし、そのような関わりも子どもたちがきちんと自覚できているかというところではない。実際、子どもたちに豊岡地区について

知っていることを尋ねてみると、『やすらぎ公園』や『花水月』『月のしずく』など大きな建物が多く、その他に何があるのか思い出すことができなかった。1. 2年生共に、豊岡地区における普段の活動範囲は自分の通学路が主であり他の友だちの地区については通ったこともないし知らないという児童が多かった。車での移動が増え、便利になるがゆえに、自分たちが地域の多くの人に支えられていることや、町の中の様々な工夫により安全な生活が守られていること、身近な自然に囲まれていることなどに目を向けることが少なくなっている。

そこで、本単元では、より具体的な体験や活動を行うことを通して、地域に生きる子どもたちが自分たちの住む町には何があるのかどのような町なのかを実際に見たり、探検で発見したものの仲間分けをしたりすることでしっかり認識できるようにしたい。そうすることで、自分たちの町には安心安全につながるものがたくさんあり、安心して生活できるという安心感や親しみ、愛着の気持ちをもつことができると考える。また、自分たちが日常において安全に気をつけて生活したり、マナーを守り公共施設を利用したりする技術を身につけることもできるだろう。

(3) 指導について

まず、自分たちの町について知っていることを子どもたちに自由に出し合わせる。友だちの話を聞き「自分を見たことがないから実際に行ってみてみたい」「他にも見たことがないものがあるかもしれない」という興味、関心を十分に引き出し、自分たちの町を探検して新しいものを発見したいという意欲を持たせたい。そして、知っていることを出し合わせた後、その場所を地図で確認し、最後の『『だいはっけん』をたくさんのひとに、してもらうにはどうしたらよいだろう。』の課題解決のヒントとなるようにしたい。

次に、町探検へ出かける際、どこを見て回ればいいのかについて考えさせる。自分たちが今まで知らなかったこと＝『だいはっけん』であることに気づかせたい。探検では、町を見て回るだけでなく見たことのない生き物や花、建物や看板など、今まで知らなかった自分の『だいはっけん』を見つけるよう伝え、探検のめあてとする。また、道路を歩く時には、交通ルールを守り安全に気をつけて歩くことを確認する。

実際の探検では、子どもたちに季節を感じるもの、音や匂い、施設や建物などに意識が向くよう何気ない会話の中で気づかせたり、標示や標識など気づきにくいものには声かけをしたりしながらたくさん発見できるようにしたい。標示や標識など安心安全につながるものにはその意味も確認する。また、施設で働いている人にも話を聞き、その役割について理解させたい。子どもたちが探検で見つけた『だいはっけん』は写真に撮り、以後の学習に役立つ。その後、探検で自分が見つけた『だいはっけん』と探検に行った感想をそれぞれ色分けした附箋に書かせ、消防署、公園、花、虫などのキーワードでまとめさせておく。

全ての経路を探検後、写真と感想などを書いた附箋の仲間分けを行う。それぞれがどのようなものなのか、どのような役割をするものなのかについて、子どもたち自身が考えながら仲間分けができるようにしたい。そのために共通点となるタイトルは子どもたちと事前に考えておき、そのタイトルに当てはまるよう仲間分けをさせていく。次に、自分たちの町にある安心安全の工夫にはどのようなものがあるのかを仲間分けをした『だいはっけん』の写真にシールをはらせて、安心安全の工夫がわかるようにする。

また、場所だけではなく、探検に行った時に話を聞いた消防署や中学校、ガソリンスタンドの人やグリーンピア天神で働いている人のことを思い出させ、町の安心安全を守るために働いている人や地域のために働いている人にも目を向けさせたい。他にも、自分たちの身近に安心安全を守ってくれている人はいないか考えさせスクールガードの人たちの存在に気づかせたい。その後、スクールガードの方からも話を聞き、自分たちが安心安全に登下校できているのはスクールガードの人たちや地域の人たちのお陰であること、自分たちは多くの人に守られ支えられて安心安全に生活できていることに気づき、スクールガードの方々や地域の方々への感謝の気持ちをもたせたい。

集会やおうちの人の前で発表することを伝え、「探検で発見したものをたくさんの人に知ってもらうにはどうしたらいいかな」と問いかけ、その方法について考えさせる。最初の活動時に見せた地図を思い出させ、地

域の様子をわかりやすくまとめた『まちたんけん だいはいけん』地図の作成へとつなげたい。地図には、共通点を考え仲間分けした写真、発見したものや感想を工夫して載せ、子どもたちが楽しく取り組めるようにする。

発表では、『やすらぎ公園～駅～三砂方面』『一本木～消防署～中学校方面』『田原・天神方面』の3グループに分かれ、地図の説明の仕方や声の大きさ、発表する態度などを考えさせる。他のグループと発表しあい、アドバイスをもらうことでより良い発表ができるよう練習させ、本番での達成感を味わわせたい。

町探検を通して自分の住む町のよさに気づき、今より更に「この町が好きだ」「この町を大切にしたい」という気持ちを育てたい。

5. 郷土学としてのめざす姿

- 「郷土に学び、郷土を見つめなおす」とは、探検を通して自分たちの住む町のよさや魅力を感じ、町への愛着や誇りを持つ姿と捉えている。
- 「未来につなぐ」とは、自分たちの住む町のよさや魅力、そして様々な人の支えにより安全で安心した生活ができているということに気づき、「自分たちの町は住みやすい。」「この町を大切にしたい」と考えられる姿と捉えている。

6. 単元計画 (全21時間)

| | 過程 | 主な活動 | 評価基準及び評価方法 |
|---------------------------|----------------------------------|--|---|
| 小単元1 まちについてはなしあおう② | 課 情 整 ま | <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> じぶんたちのまちについて どんなことをしているだろう </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> じぶんたちのすむまちについてはなしあおう。 </div> <p>○自分たちの住んでいる町について、知っていることを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちがよく行く場所 (やすらぎ公園・お店) ・利用する公共施設 (竹田駅・やすらぎ公園) ・通学路 ・自然 <p>○友だちの話を聞いて自分が初めて知ったことや感想を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園がある。 ・大きな建物がある。 ・通ったことのない自分の知らない道がある。 ・見に行ってみたい。 | <p>【A：知識及び技能①】 評価方法 (発言)</p> <p>【A：知識及び技能②】 評価方法 (発言)</p> |
| 小単元2 だいはっけんをみつけよう① | 課 情 整 | <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 『だいはっけん』をみつけるには、どうしたらよいだろう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> まちたんけんへでかけよう。 </div> <p>○自分たちの住む町の『だいはっけん』を見つける方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろんなところへ探検に行ってみる。 ・友だちに聞いてみる。 <p>○自分たちの町の『だいはっけん』を見つけるためいろんな方面へ探検に出かける。</p> <p>○探検で通る消防署や中学校、ガソリンスタンドやお店で働いている人に質問したり話を聞いたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防署の仕事は火事を消すことだけではない。 ・中学校は中学生が勉強をしに来る。避難所にもなっている。 ・ガソリンスタンドは車のガソリンを入れるところだ。こども連絡所になっている。 <p>○探検に行って『だいはっけん』したことや感想をふせんに書き、全体に発表しながら、同じ感想や発見を分類ごとに分ける。《KJ法》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園には生き物がたくさんいた。→生き物は虫。公園は公園。 ・初めて見る建物があった。→例：総合庁舎 ・通ったことのない道があった。→道路 | <p>【B：思考・判断・表現①】 【C：主体的に学習に取り組む態度①②】 評価方法 (発言・行動)</p> <p>【B：思考・判断・表現①②】 評価方法 (付箋・発言・行動)</p> |

- ・トンネルがたくさんある。人だけが通るトンネルもある。
→トンネル
- ・学校で避難訓練した時に来た場所がある。→ゴルフ場
- ・信号がたくさんある。近くで見ると信号は大きい。→信号

みつけた『だいはっけん』をおなじなかまにわけするには、どうしたらいいだろう。

『だいはっけん』をなかまわけしよう。

- ・虫は生き物で分けたらいいと思う。
- ・消防署や中学校、お店は用事がある人だけ行く場所だ。
- ・人道トンネルや標識、標示があると安全だし安心。
- ・月のしずくに行くのは楽しみ。

○みつけた『だいはっけん』の写真を見ながら、それがどのような場所なのか、どのような物なのか、グループで話し合いをしながら模造紙に貼っていく。事前にみんなで考えたタイトルの箇所に分けて貼っていく。

- ・花、虫、木など→『自然と生き物』
 - ・月のしずく、ノーネットゴルフ場など→『楽しみ』
 - ・看板や標識→『安心安全』
 - ・消防署、ガソリンスタンド、亀福等→『用事がある人だけが行く場所』
- *複数のタイトルに当てはまるものには、それぞれに同じ写真をはりつける。 《K J法》

○正しく仲間分けができたかどうか、全体で確認する。

まちのあんしんあんぜんのくふうには、どんなものがあるだろう。

あんしんあんぜんのくふうをさがそう。 (本時)

○町の安心安全の工夫がわかる写真に、シールをはり印をつける。

○町の安心安全の工夫にはどんなものがあるのか理解できたかどうかふりかえりをする。

まちのあんしんあんぜんをまもっているひとにはどんなひとがいるだろう。

まちのあんしんあんぜんをまもるひとにはなしをきこう。

○町探検に行った時、話を聞いた人のことを思い出す。

- ・消防署で働いている人の話を聞いた。火事を消す仕事だけではなく、病気になった人を救急車で運んだり、火事が起きないよ

【B:思考・判断・表現①】
評価方法 (会話・仲間わけ)

【B:思考・判断・表現①】
評価方法
(シール・行動・発言)

【B:思考・判断・表現①】
評価方法 (発言)

| | | | |
|---|--|---|---|
| | <div data-bbox="183 645 268 734" style="border: 1px solid black; text-align: center; width: 50px; height: 40px; margin: 0 auto;">ま</div> | <p>う町の見回りをしたりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校で働いている人の話を聞いた。中学校は中学生が勉強をするところ。災害が起こった時は避難所にもなっている。 <p>○自分たちの身近に安心安全を守ってくれている人はいないか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登下校中、スクールガードの人たちが自分たちの安全を守ってくれている。安心して学校に来ることができている。 <p>○自分たち安心安全に過ごせるように見守ってくれているスクールガードの方に話を聞く。</p> <p>○話を聞いて初めて知ったこと（『だいはっけん』）や感想を付箋に書いて全体に発表する。</p> | <p>【A：知識及び技能①】 評価方法（発言）</p> <p>【A：知識及び技能①】 評価方法（発言・付箋）</p> |
| <p>小 単 元 3</p> <p>だ い は っ け ん を み ん な に つ た え よ う ⑧</p> | <div data-bbox="183 779 268 869" style="border: 1px solid black; text-align: center; width: 50px; height: 40px; margin-bottom: 10px;">課</div> <div data-bbox="183 869 268 958" style="border: 1px solid black; text-align: center; width: 50px; height: 40px; margin-bottom: 10px;">ま</div> <div data-bbox="183 1485 268 1574" style="border: 1px solid black; text-align: center; width: 50px; height: 40px; margin-top: 10px;">表</div> | <div data-bbox="304 779 1171 891" style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">『だいはっけん』をたくさんの人に、してもらうにはどうしたらよいだろう。</div> <div data-bbox="354 904 1139 967" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">みんながわかりやすい『だいはっけん』ちずをつくろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・地図にすれば場所がわかりやすい。 ・写真をはれば、目立ってすぐにわかる。 ・写真と一緒に感想も入れたら詳しくなる。 ・スクールガードの人や消防署の人のせたいな。 <p>○『だいはっけん』した場所の写真に、自分たちの発見や感想も書きいれながら、地図に張り付けていく。</p> <p>*話を聞いた人たち（消防署・中学校・ガソリンスタンド・グリーンピア天神・スクールガード）も地図の中に入れる。</p> <div data-bbox="304 1485 1171 1547" style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin-top: 10px;">どのようにはっぴょうすれば、わかりやすくつたえられるだろう。</div> <div data-bbox="466 1576 924 1639" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">くふうしてはっぴょうしよう。</div> <p>○どのような発表の仕方をすればよいのか話し合う。グループごとに練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探検で自分たちが見つけたことを伝えたい。 ・町の安心安全を他の人にも伝えたい。 ・話を聞いた人たちのことも発表したい。 ・地図の場所を順序よく説明していく。 ・聞こえるように大きな声で話す。 ・前を向いて話す。 <p>○ほかのグループと発表し合い、感想交流をする。</p> | <p>【A：知識及び技能①②】 【B：思考・判断・表現①②】 評価方法（行動・会話・感想）</p> <p>【B：思考・判断・表現①②】 評価方法（表現・行動）</p> |

| | | | |
|--|---|---|--|
| | <div data-bbox="183 315 272 405" style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">ふ</div> | <p>○防災集会やお家の人への発表する。</p> <p>○地図を作ってみてわかったことや気付いたことをノートに書き、ふりかえりをする。</p> | <p>【C：主体的に学習に取り組む態度①②】</p> <p>評価方法（発言・ノート）</p> |
|--|---|---|--|

(1) 題目 町にある安心安全の工夫を探そう。

(2) 主眼 自分たちの町にある安心安全の工夫にはどのようなものがあるのかについて、みんなで考えた4つのタイトルに仲間分けした『だいほっけん』の写真にシールを貼る活動を通して気付くことができる。

(3) 展開

| 学習活動 | 時間 | 指導及び支援 | 評価の観点 |
|--|----|---|---|
| 1. 本時のめあてを確認する。 | 5 | ○前時までの活動を振り返り、本時のめあてを確認する。 | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> あんしんあんぜんのくふうをさがそう。 </div> | | <p>○タイトルごとに仲間分けした写真の中から、町にある安心安全の工夫がわかるものに、理由も考えながらシールを貼らせていく。</p> <p>○用事があるときに行くような場所でも、子ども連絡所のステッカーが貼られていたり、避難所になっていたりすれば『町にある安心安全の工夫』になることなどに目を向けさせる。シールを貼る子どもたちの様子を見ながら、声かけをし探検の時のことを思い出させるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防車は火事になったとき、火を消してくれるから安心できる。 ・竹田中学校は避難所になっているから安心だし安全だ。 ・人道トンネルと車道トンネルがあると安心して通れるし車とぶつかることもないから安全だ。 | <p>【思・判・表 ①】</p> <p>○探検を通して、安全に生活すること、まちにはみんなで使うものがあることについて考えることができる。</p> <p>評価方法（会話・シール）</p> |
| 3. 全体に発表する練習をする。 | 7 | ○町にある安心安全の工夫として選んだものについて、どうしてその写真を選んだのか理由を言わせる。 | <p>【思・判・表 ①】</p> <p>○探検を通して、安全に生活すること、まちにはみんなで使うものがあることについて考えることができる。</p> |
| 4. 全体に発表する。 | 13 | <p>○聞いているグループは、相手のグループの発表を聞きながら安心安全の工夫の理由に納得できるかどうかを考えながら聞くように伝える。</p> <p>○発表したグループへ質問がある場合</p> | <p>○探検を通して、安全に生活すること、まちにはみんなで使うものがあることについて考えることができる。</p> <p>評価方法（発表・ふりかえり）</p> |

| | | | |
|--------------|---|--|--|
| 5. ふりかえりをする。 | 5 | <p>は質問をさせる。</p> <p>○町の安心安全の工夫にはどんなものがあるのか理解できたかどうかふりかえりをさせる。</p> | |
|--------------|---|--|--|

8. 考察

(1) 教材（素材）は、子どもの意欲を高めるものであったか。

○町たんけんは子どものワクワク感を持たせるもので視点も明確であった。

○たくさんの写真を自分たちで考えて4つのグループに分けることができていた。

△『安全の工夫』の捉え方があいまいでわかりづらく、子どもたちには難しかった。

△同じ写真がいくつもあったので、写真の数をしぼっておいたほうが子どもたちには考えやすかったのではないだろうか。

(2) 思考ツールは、探究的な学習につながっていたか。

○表、写真、安全安心シールが視覚化されており、UDの視点からも思考しやすい。

△看板は安心安全なものだと、看板に書かれている意味を考えず進めていっていたので、事前に考えを持つ時間やワークシートなどがあるとわかりやすかった。

△4つのグループのタイトルの中に『安心安全』があったので安心安全以外のタイトルのところにも安心安全につながるものはないかを探させた方がよかったのではないか。

△看板や標識、建物だけではなく、『人』にも目を向けさせる必要があったのではないか。

(3) 地域のために自分たちにできることはないか考え、行動しようとする姿につながっていたか。

○スクールガードや消防署の人などから話を聞き、自分たちが地域の人たちに守られていることを知り、地域の人たちへの感謝の気持ちを持つことができた。また、そのような人たちがいることを自分の家族にしっかりと伝えることができた。

(4) その他

○発表時、質問や意見をしっかりと認めていた。また、お互いの意見を聞くことで理解が深まっている。

○子どもたちに任せることは子どもたちの意欲につながる。

△写真が小さく発表する時に見えづらかった。

